

北は小坂町、南は湯沢市まで秋田県の元気な集落の情報満載!!

元気ムラ通信 12号

元気ムラ通信は秋田県活力ある集落づくり支援室が運営する「秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイト(通称:元気ムラ応援サイト)」で紹介している地域活動を、より多くの皆様に参考にしていただくために発行しております。 ●発行日:平成28年8月1日

あきた元気ムラ
応援サイトは

元気ムラ で検索

- Twitterアカウント→@akitagenkimura
- facebook→「あきた元気ムラ」



元気ムラサイトを
携帯電話・スマート
フォンで見たい方は
←こちらから!

里山の恵みを探しに♪

6月の山には
バライチゴ、すぐり、
桑の実など木の実が
たくさん!!



▲赤田地域(由利本荘市)での視察の様子

←赤田地域では、銀座ミツバチプロジェクトのご紹介で同行していただいたイタリアンシェフの富山晶行さんにタケノコ、ミズなど山の幸を使ったピザやカルツォーネを作ってもらい、調理方法についてレシピを教えてくださいました。

馬場目杉沢地域で
採取した葉っぱや木の
実を使った料理の
試食会

つながる・広がる「里山の恵み」 プロモーション事業

今年度の新たな事業として、地域資源である「里山の恵み」の資源調査・商品化プロモーションを、首都圏の地域づくり支援団体と共に行っています。6月19日(日)~20日(月)は、首都圏で活動するNPO法人銀座ミツバチプロジェクトを馬場目杉沢地域(五城目町)と赤田地域(由利本荘市)に招き、現地調査を交えた地域との交流会も開催しました。



「里山の恵み」プロモーション事業では、こんなことを行いました♪

笹の葉

ワークショップ



会場:金井神・上坂部集落(横手市)

平成28年6月10日(金)と7月7日(木)の2日間、金井神・上坂部集落で薬物部門のワークショップを開催しました。この日はアドバイザーを集落に招いて、実際に地域の山に入り、笹の葉の状況を確認し、出荷する際の仕分け方法を住民の皆さんが学びました。



ハーブテイラー (山野草木)ワークショップ



←鶴川地域(三種町)

ノカンソウやキキョウの花などの薬草栽培の様子を視察し、入浴剤への活用について意見交換しました。

会場:鶴川地域(三種町)、山田地域(大館市)

平成28年7月15日(金)、(株)川内美登子・植物代替療法研究所の川内社長を秋田県にお招きし、鶴川地域と山田地域の「山野草木」の現地調査及び、意見交換を行いました。

ブドウの葉や、
クロモジの木を煎じた
お茶の試飲も♪

山田地域の山に入り、クロモジの木などを視察・採取。
山田地域(大館市)→



活動報告

レポート
1

学生と地域団体のマッチング♪



県内の大学生と地域活動団体が参加し情報交換を行いました

やんぐびじょん交流会

- 会場: にぎわい交流館AU(秋田市)
- 開催日: 平成28年6月11日(土)

この交流会は、地域で活動したいと考えている学生と、地域団体とのマッチングを目的に秋田地域振興局が実施しました。元気ムラからは仙北市・白岩地域の「白岩村おこしプロジェクトS」が参加し、秋田大学を中心とした「ARC(アーク)グループ」とのマッチングが成立しました。8月15日(月)に白岩地域で開催される「大名行列」に関わる予定です。

オードブルの入れ物に山菜料理を入れるととっても綺麗♪



ワラビの一本漬や山フキの味噌漬けなどシンプルな漬物が好評でした♪

レポート
2

お母さんの味を商品化しよう!



GBビジネス山菜等漬物試食会

- 会場: 梅内地域(能代市)、赤田地域(由利本荘市)
- 開催日: 平成28年7月5日(火)~6日(水)

秋田県の集落ネットワーク(※)に加入している元気ムラの2地域(梅内、赤田)に、京北スーパー(千葉県柏市)の下西社長、坂大バイヤー、柏店の西窪店長を招き、山菜等を使った漬物の試食会を開催しました。昔からの料理を試食しながら、京北スーパーの客層にあう料理について、商品化が可能か意見交換を行いました。

※秋田県のGB(じっちゃん ばっちゃん)ビジネス拡大展開事業の一環で首都圏に山菜を「共同出荷」している地域。県内の14の地域が集落ネットワークに加入しています。



イベント情報 咲かせよう 元気とやる気の創造花火♪

あきた元気ムラ 大交流会!!

今年は大仙市で開催します!!

開催日
9/3(土)
12:00~16:00

集落活動を活発にするヒントを得るため、地域の皆さんで交流会に参加してみませんか?

県内各地から
元気ムラ大集合!

大交流会内容

第1部 開会式・事例発表

12:00~13:15

- 地域づくりに取り組む集落等の事例発表

- 取組発表①「外部人材活用による地域活性化」
~大仙市集落支援員の取組~
- 取組発表②「地域交流拠点づくり」
~羽後町「お互いさまスーパー仙道てんぼ」の取組~

第2部 大交流会

13:35~14:35

- 地域のお宝(資源)を囲んでの交流会

地域自慢のお菓子や漬物を試食しながら語らおう!

第3部 お宝アピール・開会式

14:45~16:00

- 地域のお宝をテーマとした語らいの場

「半道寺おもてなし一座」と「Jingujiキャンデー」のアトラクションもあるよ!



- 会場: 仙北ふれあい文化センター (住所: 大仙市堀内内字元田茂木7-1)



当日は会場敷地内で「余目ほたるそば」や軽食の販売も予定しております。近隣には飲食施設がないのでご注意ください。

あきた元気ムラ大交流会の参加申込については、各市町村の「地域コミュニティサポート窓口」までお問い合わせください。

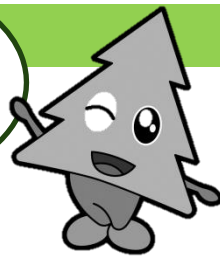
申込締切は

8/19(金)

現地トピックス

地域間交流 レポート

交流のご相談は
お気軽にご連絡
ください♪



平成28年
5/27(金) 花輪地域づくり協議会(鹿角市)→上町自治会(能代市)

元気な自治会活動を学ぼう！

花輪地域づくり協議会(79の自治会で構成)の皆さんが、「元気な活動をしている自治会と交流したい」ということで、上町自治会(55世帯)と交流会を開催しました。防災セミナーや、まちなか美術展の開催など、様々な団体と連携した活動が上町の特徴の一つ。両地域ともお互いの組織構成は異なりますが、いい刺激になったようです。

会場は能代市の旧料亭金勇。花輪地域から30名が参加し交流会を楽しみました。



平成28年
6/6(月) 琴浦自治会(にかほ市)→海士剝町内会(由利本荘市)

海沿いの防災活動を学ぼう！

琴浦地域は標高が低く、海岸線に接しているため、津波の不安が常にあります。「お隣の由利本荘市・海士剝の津波避難タワーを見学したい」という声が自治会内で上がり、今回の交流に繋がりました。海士剝では地域の災害弱者を把握しようと、標高、各世帯、名前、避難場所を記した町内避難マップも作成しており、似た環境にある海士剝の取組に琴浦の皆さんから質問が飛び交っていました。

301世帯が暮らす海士剝地域の津波避難タワーを琴浦自治会の皆さんが見学しました。



平成28年
6/17(金) NPO法人常盤ときめき隊(能代市)→鴫地域(小坂町)

ブドウ栽培を学ぼう！

「ブドウ栽培に取り組んでいる地域と交流したい」という常盤ときめき隊からの希望で、鴫のブドウ栽培について現地の農園を訪れてお話を伺いました。秋田県最北の地のブドウ栽培は試行錯誤の連続だったそうです。鴫のブドウ栽培の歴史に触れた交流となりました。

昭和63年から始まった鴫地域のブドウ栽培。



編集後記 ~さなぶりは何を食べる?~

6月は田植えの労をねぎらう「さなぶり」の季節。「さなぶり運動会」「さなぶりレクリエーション」など地域行事も行われますね。この時期、由利本荘市の上笹子地域では、2月に作った凍み大根と山ウリ(ウルイ)、ニシンを一緒に煮付けにして食べるそうです。男鹿市の安全寺地域や男鹿中地域では、赤飯を朴の葉につつんだ「小豆まんま」「小豆飯(あずきめし)」を食べた思い出を聞くことができました。この季節は各地で様々な山菜料理が食卓にあがりますが、調理方法は地域ごとの個性が現れます。お母さんたちの腕のみせどころですね(^^)

第3回

地域の元気 お届けマーケット

レポート

7月16日(土)~17日(日)の

2日間、秋田駅で第3回地域の元気お届けマーケットを開催し、元気ムラの11の団体の皆さんが自慢の逸品を販売♪地域をPRしました。



今回は4団体が地域の元気お届けマーケットに初出展しました。

出展した地域団体の皆さん

★印は初参加の団体

- 山田部落会(大館市)
- 鶴形地域まちづくり協議会(能代市)
- 梅内山菜倶楽部(能代市)★
- 鶴川ももとセクラブ(三種町)★
- みせっこあさみない(五城目町)★
- 赤田町内会(由利本荘市)
- 矢島・坂之下集落(由利本荘市)★
- 田沢地域運営体「荷葉(かよう)」わらび会(仙北市)
- 金井神・上坂部集落(横手市)
- 三又旬菜グループ(横手市)
- プリティアップル(横手市)

次回
開催日は 平成28年
11/26(土)~27(日)

※出展にご興味のある地域団体は、お近くの市町村の「地域コミュニティサポート窓口」か、下記の元気ムラ支援室までご連絡ください。

電話 018-860-1215
(元気ムラ支援室)

元気ムラ応援団 募集中!!

元気ムラ(※)が行うイベントへの参加、PRや得意な分野でのお手伝い等を行っていただける企業、市民団体、学生団体等の組織を「あきた元気ムラ応援団」として募集しています。入会金等は必要ありません!ご興味のある方は、元気ムラ支援室までご連絡ください。

みんな
入ってけれ~!



※秋田県では人口減少や高齢化が進んでも、みなで地域の将来像を描き、チャレンジする地域を「元気ムラ」と呼んで応援しています。

声

元気な地域の
想いを発信！

地域からのメッセージ Vol.11

にかほ市
平沢

ことら
琴浦自治会の皆さん



※2016年7月7日にインタビューした内容を掲載しました。

歴代の役員や住民が残した足跡を形に

「格好付けて、いきなり難しいことをやってもな」。そう話すのは琴浦自治会の皆さん。

琴浦地域は414世帯1085人が住み、平沢海水浴場が間近に広がる地域です。これまで目立った災害は起こらず、「津波が来る」という意識を持っている人は多くはないと言います。昔から教えられていたのは「地震が来たら海岸に逃げろ」ということ。

「砂浜は地割れが起きないから安全だ」という意識から、このように伝わっていました。しかし、そういった意識を一変させる大きな出来事が起こります。2011年3月11日の東日本大震災です。2010年に自治会で発電機を購入していたため秋田県全域が停電している中、テレビで情報を得ることが出来ました。その時、津波の恐ろしさを目の当たりにしました。

当時、にかほ市が地域に設定した津波時の避難場所は、高さ13mの場所にある「上町田遊園地」の1ヶ所のみでした。その後、国と秋田県が調査を行ったところ、琴浦地域は浸水地域に認定され、避難場所の遊園地は浸水する想定となりました。

そこで自治会は新たに避難場所を考えました。津波の際に危険なのは海岸と川。地域を分断するように「琴浦川」が流れているため、川を渡らないように避難する必要がありました。こうして考え出された結果、今の避難場所である「ホテルエクセルキクスイ駐車場」、「TDK秋田工場東口」が避難場所として設定されました。

また、時が経ち、避難場所として場所を提供いただいていることを覚えている人がいなくな

らないようにと、ホテルエクセルキクスイの経営者の善意により自治会と書面で約束が交わされました。

改めて大切だと感じたことは「自助」「共助」「公助」の3つで、特に共助の部分は災害時にはとても大切な部分です。共助とは「地域や近隣の人が互いに協力し合うこと」。

自治会では、サロン活動やイベントなど、人が集まる機会を増やし、その流れで住民同士の会話を増やすことで、地域全体で動くための繋がりを作ることを目的に活動を行っています。こういった歴代の自治会役員が行ってきた活動は全て書面で残され、役員が変わっても自治会の意志は受け継がれています。現在の役員の皆さんも「今まで活動した記録が残っているのでありがたい」と話します。

「これからは毎年、内容をステップアップしていきたい」と皆さんは話します。

例えば「避難ルートの確認」→「時間短縮」→「避難弱者の支援」→「炊き出し訓練」といった流れで、まずは今できることから、徐々に難しい問題に取り組んでいこうと意欲を見せます。

「夢は公民館も避難場所も全部合わさった公民館を建てること！」

「1億円あればなあ（笑）」

難しい課題に直面しても夢を思い描くことを忘れない琴浦自治会の皆さん。歴代の自治会役員や住民の皆さんが残してきた足跡をたどり、住民が安心安全に暮らせるよう琴浦自治会の皆さんの活動は形を作り始めています。

元気ムラ支援室は「住民主体」の地域づくり活動を支援しています。

- 地域づくり活動事例の出前講座
- GB(じっちゃん・ばっちゃん)ビジネスの支援
- 集落間交流のコーディネーター など。お気軽にご相談ください。

こんな活動を
しています♪

お問い合わせ

●発行／秋田県 活力ある集落づくり支援室(元気ムラ支援室)

●住所／〒010-8570 秋田県秋田市山王4丁目1-1

●電話／018-860-1215 ●FAX／018-860-3875 ●E-mail katsu@pref.akita.lg.jp